

## 市民と市長のタウンミーティング要旨

日 時：令和6年5月19日（日） 15時30分～16時50分

場 所：コミュニティセンター公所会館（集会室）

テ ー マ：新総合計画及び市政全般

参加人数：25人

### ○参加者からの意見等

#### 【意見】

- ・ 町田市と大和市をつなぐ一本道（公所山谷線）は抜け道になっており、信号もなくスピードを出す車が多い。
- ・ 道路も傷んでいてトラックが通る際の振動もすごく、側溝の蓋も割れてしまうので、何とかしてほしい。

#### 【市長】

- ・ 私は身近な道路や身近な公園などの整備を進めようと考えている。
- ・ 道路に関しては、現在、道路整備計画の見直しを進めており、市民の皆さんからのご意見を反映していく考えであり、今回のご意見も関係する所管課に情報提供し、対応の可否について検討させていただく。

#### 【意見】

- ・ 民生委員をやっている。
- ・ 今年度できた「福祉ここから相談窓口」は、今まで窓口が細かく分かれていて相談しにくかったこと、たらい回しのことをなくそうというものだが、「福祉ここから相談窓口」ができて相談しにくいことが出かねないことを懸念している。
- ・ 例えば、障がいのあるご夫婦から、高齢になって生活上不便なことが多くなってきたという相談があり、障がい福祉課からはお金は出ていたが、介護保険のことはご存知でなかった。
- ・ 今後、市役所のどこからでも「福祉ここから相談窓口」につなげられたら、このようなことはなくなるはずである。
- ・ 「いつまでもみんなが元気でいられるまち」を掲げていくのだから、共生社会とも言われている中、高齢であっても障がいがあっても、誰でも暮らせる街になるように、是非頑張ってください。

#### 【市長】

- ・ 市役所は縦割りということはよく言われるが、「福祉ここから相談窓口」は健康福祉部とこども部を繋いで情報を共有できるようにしている。
- ・ 今後、縦割が起こらないように、関係する所管課にご意見を伝える。
- ・ おっしゃる通り、高齢の方も障がいのある方も誰もが共生できる社会として、地域と行政が協力してやっていけるよう対応していきたい。

【意見】

- ・ 今、一つの自治会ではどうにもならない自然災害が各地で発生している。
- ・ 海老名市では各自治会をとりまとめる自治会を作り、そこで話したことを各自治会に下ろしており、それであれば対応もしやすくなると思うので、大和市でもそのような体制を進める検討をお願いしたい。
- ・ 最近では定年が伸び、再雇用する企業が増えたことにより、現役時代が長く実質的には75歳まで働いく人もおり、自治会のことをお願いできる人が少なくなっている。
- ・ 高齢のご夫婦で片方が亡くなってしまうと、リサイクルステーションの清掃も大きな負担となるので、80歳以上で一人になった場合は、自治会費や当番は免除するなど、定年制のようなものを導入してはどうか。

【市長】

- ・ これまで、様々な災害現場でボランティア活動をしてきており、能登半島地震も現地でボランティア活動し、石川県七尾市と富山県高岡市を訪れた。
- ・ 避難所にはプライバシー保護の間仕切りが設けられていたが、この空間で長期間生活していくストレスは大きく、上水道や下水道も復旧できず、復興がなかなか進まない現状がある。
- ・ 発災当初、ボランティアの受入体制が出来ていないので断ったことが報道され、ボランティアが集まりにくくなっているとのことだった。
- ・ 能登半島地震の教訓から学び、備えをしっかりとしていきたい。
- ・ 大和市の自治会連絡協議会で各自治会を地区毎に分けて、取りまとめをしているが、体制が機能できているか確認をしていきたい。
- ・ 自治会については、定年延長などが加入者に影響があることは承知しており、加入率を増やすために新たな方法を模索していかなければいけないと考えている。
- ・ 自治会加入率の低下は、自治会に入ると面倒なことをやらされるなど、ネガティブに捉えられている人が多いことも要因のひとつである。
- ・ 年齢が上がっても、孤独孤立にならないように、自治会活動に参加して地域と交流していただけるよう、ご意見を関係する所管課と情報共有し、他の自治体の成功事例を参考に、自治会のメリットを啓発していく。

【意見】

- ・ 広域避難場所や指定避難所が大和市の人口に比べて少ないと感じる。
- ・ 遠方に避難場所があるのに車で避難できないとなると、高齢の方や障がいのある方の避難が難しくなるので、もう少し避難場所が増やせないか。

【市長】

- ・ 避難場所として、一時避難場所、広域避難場所、指定避難所があるが、高齢の方や障がいのある方の避難が難しいことは、喫緊の課題だと認識している。
- ・ 高齢の方の避難場所への移動については、自治会の中で対象者のリストに従って対応することにはなっているが、実際に災害に遭った皆さんが様々な対

応をすることができるのかという点と難しい。

- ・ 職員も被災する可能性も高く、災害発生直後すぐに対応することが難しいため、初動の24時間は自助、その後に共助、公助となっていく。
- ・ 災害協定を結んでいる自治体に応援要請をするなど、大和市としても少しでも早めに対応できるようにしていきたい。
- ・ 市内に住む職員を積極的に採用して増やし、災害時に対応しやすいようにしていきたい。

#### 【意見】

- ・ ふるさと納税の返礼品について、令和4年の調べで、大和市は集めた納税額が全国989位、県内20位、額として1億2千9百万、件数は3,152件ということであるが、南足柄はもっと少ない人口にもかかわらず県内2位の額を集めている。
- ・ ふるさと納税は特産品がある自治体強いが、市町村が知恵を絞って寄付の金額が大きくなれば財政が豊かになり、様々な政策が可能になる。
- ・ ふるさと納税について大和市はどう考えるか。

#### 【市長】

- ・ ふるさと納税については、大和市も現在、返礼品について知恵を絞って考えているところである。
- ・ 例えば、上瀬谷通信施設跡地の「GREEN EXPO」開催、その後のテーマパークの開業が予定されているので、「GREEN EXPO」やテーマパークの内容に合わせたイベントをできないかと考えており、それと関係づけた返礼品となり得るものを見出していきたい。
- ・ 日本の食文化は世界に認められているので、そういったことも併せて考えていきたい。
- ・ 大和市は私鉄3線8駅あることを活かし、駅前が賑わって人が集えるような施策を打ち出し稼げる街にしていきたい。
- ・ 稼ぐのは「攻め」で駅前を中心に、大和市はベッドタウンなので住宅街は安心で静かで暮らしやすい「守り」の街づくりをしていく。
- ・ そういう中でふるさと納税も全国から集まるようにするとともに、企業版ふるさと納税も活用していきたい。

#### 【意見】

- ・ タウンミーティングに若い人の参加が少ないのは残念である。
- ・ 30年後も大和市で暮らす若い人に向けて、参加者の許可を得てライブ中継するなどが大事ではないか。
- ・ 総合計画は10年の計画とのことだが、30年後、40年後のための10年であると思うが、それを踏まえて市長は30年後の大和市をどのようにしたいと考えるか。

【市長】

- ・ このタウンミーティングとは別に、小学校中学校でも呼びかけをして、未来のやまとはどうあるべきか、何が問題かということを取りまとめている。
- ・ 来年度は子ども議会のようなものを開いて子どもに議論してもらうことも考えている。
- ・ SNSを活用して20代、30代を巻き込んで、若者を大和市に集めたいと考えているが、そのためには、若者が大和市で働けるよう、次世代の技術を持った企業の誘致、若者が学べる研究所、大学の誘致も考えていきたい。
- ・ 上瀬谷通信施設跡地で「GREEN EXPO」開催、その後にテーマパークの開業が予定されており、具体的な内容はまだ示されていないが、若者向けやインバウンド向けのコンテンツになる可能性があるので、「GREEN EXPO」やテーマパークの内容に合わせたイベントを大和市でも仕掛けていく。
- ・ 大和市に若者が大和市に興味を持って集まってくれるよう、併せて子どもや高齢の方も暮らしやすくなるよう全方位で考えていきたい。

【意見】

- ・ つきみ野駅北側の駅舎に沿った歩道が狭く、通勤等で急いでいる人、ゆっくり歩く人、色々な人がいるので、追い越したくても追い越せない。
- ・ 不便なので、将来的には市が土地を確保して拡幅していただきたい。

【市長】

- ・ 身近な道路を整備していくことに力を入れていくため、これまでなかった道路整備計画を歩行者の安全に配慮しながら策定していく。
- ・ 歩行者の安全確保や緊急車両の通行をしやすくする、セットバックや隅切りに協力していただける場合に、市が用地を取得することについても、対応の可否を検討していく。

【意見】

- ・ 公所地域には、子どもが球技で遊べるような広い遊び場がない。
- ・ 以前、遊べた場所も住宅になり、公園も小さい公園しかないので、野球やサッカーなどボールを使った練習ができる場所を是非作ってほしい。
- ・ 公所の北の方はセンターラインもないような狭い道路が多い。
- ・ コミュニティバスが通る地域も限られ、公所バイパスより北に住んでいる人が駅に行ったり、中央林間やオークシティに出かけるのが大変である。
- ・ コミュニティバスのルートの再編などの際に、公所地域の事情も考慮して進めていただきたい。

【市長】

- ・ 中部はスポーツセンター、南部はゆとりの森があるのに対して、北部のスポーツができる場所、施設は少なく、ポラリスの横のスポーツ広場くらいというのが現状である。

- ・ 北部はなかなか空いている土地がない状況ではあるが、子ども達が遊べるスポーツが出来る場所を増やせるよう、知恵を絞っていききたい。
- ・ コミュニティバスは、今まさに再編に向けて見直しを進めているところであり、いただいたご意見を所管課と共有して利便性を向上させていく。

【意見】

- ・ 健康寿命を延ばすため、20名ほどが集まる体操クラブで活動しているが、鶴間コミセンの一番広い部屋の予約が取れない。
- ・ その理由として、市役所が予約を入れていることが多いからと聞いた。
- ・ 週に2回しか予約できない場合もあり、もっと市民が予約を入れられるようにしてほしい。
- ・ ポラリスやシリウスを使いたくても利用料が高いので、市民のために安くしていただきたい。

【市長】

- ・ ポラリスやシリウスは建設費もかかっており、コミセンと比べると、利用料は高く設定されている。
- ・ 鶴間コミセンの予約について、ご意見を所管課と共有させていただく。